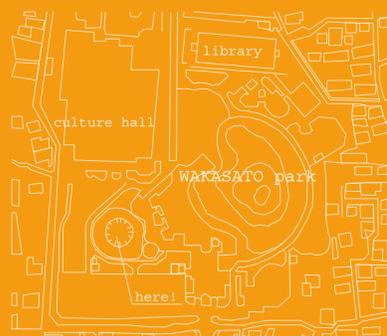




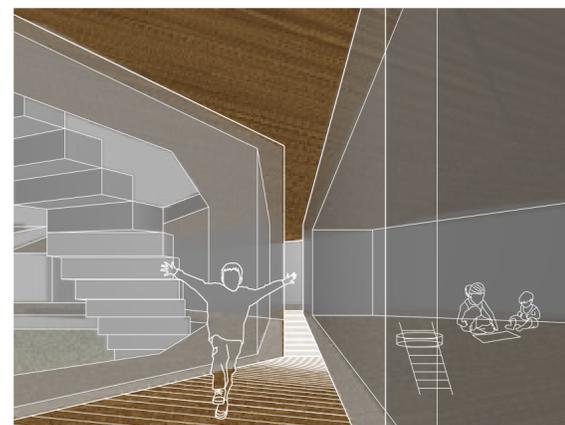
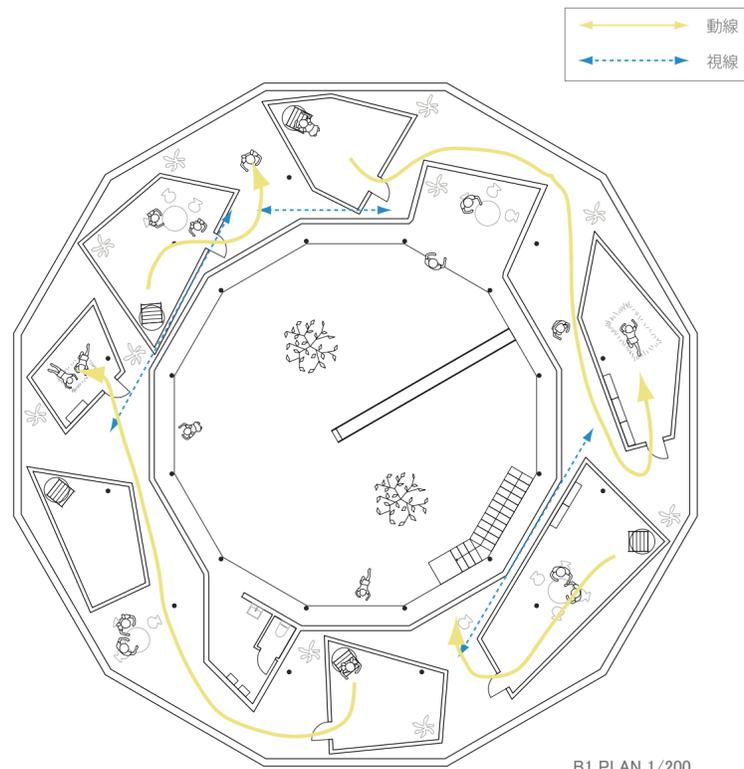
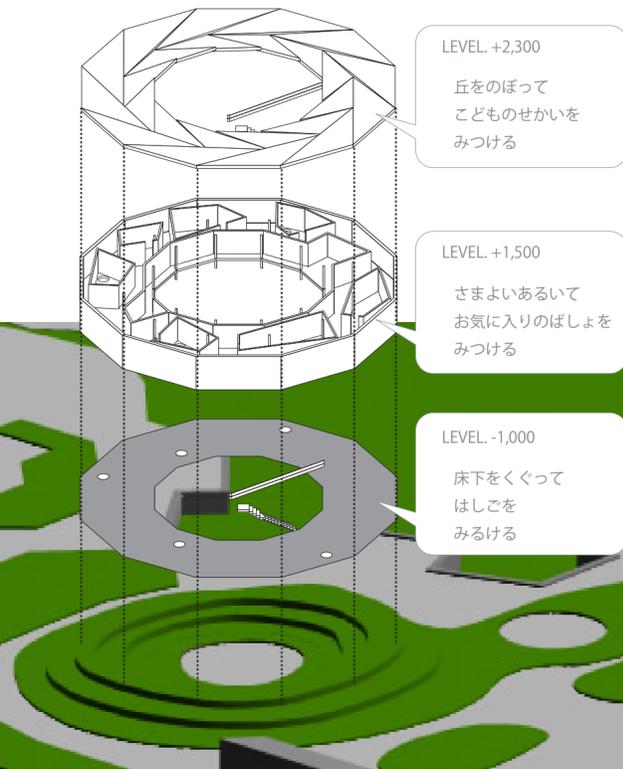
建築は一般的に健康な成人を対象につくられているが、実は健康成人というのは社会のメジャーではあるものの、それがすべてではない。建築は広く多様な人々に開かれていなければならない。そうした考えに基づくと一つの実践はユニバーサルデザインと名付けられているが、得てしてこの考え方は障害者に優しくという考えに誤解される。そうではなく、ユニバーサルとは健康でも建築使用者の対象と見落とされがちな、幼児や老人に対しても適合しているさまをいうのである。そこで、本課題ではその中でも幼児に特化し、幼児のための施設を設計する。

このお題にたいして、こどもの好奇心と行動力を誘発するような施設を提案した。この建築を体験した子供は、「この丘の向こうには何があるんだろう?この壁の向こうには何があるんだろう?」という思いを抱き、行動を起こすであろう。

SUMMARY



SITE MAP 1/5000



幼児の空間
SPACE FOR CHILDREN

その向こうがわ
OVER THE OBJECT

設計製図課題

所在地 若里公園 (長野市)
用途 無指定
延床面積
課題時期 2006年 夏期

Subject of design and drawing

Location WAKASATO park (Nagano)
Program No assignment
Total floor area
Time of subject Summer 2006

SAKAUSHI-LAB.

